

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3 Critical Reading I (All Faculties, English)-E3				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 鈴木 大介			
群	キャリア形成科目群			分野(分類)	国際コミュニケーション			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	水1		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
本演習を通して、伝達手段としての英語力の向上だけでなく、各学部における専門教育の基礎となるような英語力の醸成を目指す。具体的には、基本的な学術書から実際の英語表現や語彙・文法を学ぶと同時に、英語をテーマにした学術的な英文に触れることで、読解力を一層確実なものとする。また、学術論文やエッセイを正しく読みやすい英語で書くための基礎的な技能の習得も目指す。											
【到達目標】											
学術英語における必要最低限の語彙や表現を使いこなせる基礎的な能力に加えて、学術的な文章における論理構造を理解し、その内容把握ができる実践的な能力を養う。											
【授業計画と内容】											
パラグラフの構成や種類、エッセイや論文のスタイルを理解することで、学術英語における文章表現や論理構成を考えていく。											
英語に関連した様々なトピックの英文読解やライティング課題の取り組み、さらには各テーマに関する議論等を行う。											
・ 授業スケジュール											
第1回 Introduction 英語という言葉、さらにはその歴史について概要を述べる。また、授業の進め方や準備を周知すると同時に、発表の方法について触れながら、受講者の担当部分を決定する。											
第2回～第14回 『英語の歴史』の精読 Chapter 1. The origins of English Chapter 2. Old English Chapter 3. Middle English 各chapterについて2～4回の授業を充てる。上記で示した方法により、題材の精読と、その内容についての議論等を行う。教科書の内容や担当者の習熟度によって進度は大きく異なってくるが、毎回、数ページ程度を読み進めていく。同時に、学術英語に関わるライティング課題にも取り組む。											
フィードバック											
【履修要件】											
特になし											
----- クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3(2)へ続く -----											

クリティカルリーディングⅠ（全・英）-E3(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（出席状況や授業への取り組み、提出物の内容）60%
発表（担当）40%

【教科書】

David Crystal（西出公之註）『A History of the English Language（英語の歴史）』（成美堂）ISBN: 4-7919-3608-6

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

教材の予習や復習、課題の仕上げを行う。

【その他（オフィスアワー等）】